

応募調書（アイデア部門）

都道府県

鹿児島県

市町村名	長島町			
アイデア名称	NAGASHIMA DIGITAL SCHOOL PROJECT			
連携自治体、企業、団体等	横瀬町，（一社）熱意ある地方創生ベンチャー連合, KDDI(株) 他 10 社以上			
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	(種類)	①	(左記が①の場合の分野)	教育，子育て，観光等
	【デジタルを活用したアイデアの全体概要】 ○ 「デジタルを活用した新しい教育の形」を文化として継承するための，サテライトオフィスを開設。 【実施に至る経緯・動機】 ○課題①②が顕在化しており解決策を見いだせない状況であったが，デジタルの活用で解決に向けた道筋を見出すことができたため。 【解決する課題の具体的内容】 ① コロナウイルス感染症の蔓延により，当町は島内の年 10 回のイベントや島外での PR 活動のほとんどを中止させた。よって，当町の経済は大きな打撃を受け，また，人員交流もビジネスやプライベート関係なくストップしており，島内全体の雰囲気も芳しくない状況が続いている。 ② 当町には学習塾が少なく，都市圏と同水準の学びを受講するためには，島外へ片道 1 時間をかけ両親や近親者が送迎を行う。送迎者は受講中，近辺で待機し 3 時間の受講のため少なくとも 5 時間以上／日の時間が必要であり，時間的制限により学びを断念する生徒も多い。また，①と同様に島外への移動に関し，自粛を余儀なくされることで学びを抑制せねばならない状況であった。			
デジタルの活用により目指す成果（数値）	令和 7 年度末達成目標 ① 施設を利用する企業数 10 社 ② 施設を利用する企業における，所在都道府県外の企業数 6 社 ③ 施設の利用者数 2,500 人 ④ 施設の利用者における，所在都道府県外の利用者数の割合 50%			

本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	【特徴的なデジタル活用】 ・テレワーク環境やオンライン学習等はもちろんのこと、当センターは1ha以上のミカン農場でスマート農業を展開予定。遠隔（デジタル）で育てたミカンミカン狩り等（リアル）で体験することができる。 【自治体との連携】 ・埼玉県横瀬町や北海道東神楽町とワーケーションやイベントで連携予定。両町は、当町同様にデジタル田園都市国家構想推進交付金のテレワークタイプでサテライトオフィスを構築（予定）しており連携を謳うことで、今回の目的だけではなく、情報連携を行い「小さな自治体DX」を実現したい。 【包括連携協定企業や団体との連携】 ・（一社）熱意ある地方創生ベンチャー連合のネットワークやコミュニティーマネージャーを活用した集客 ・（株）阪急交通社，（株）キッチハイク，（財）鹿児島海技センター，（株）Skyer と連携し，資格取得に特化したワーケーションツアーの開催 ・オンライン学習塾と連携し，地域の学習の場「マンダリン塾の開講」
今後の展望	○多くの自治体や企業と共に新しい学びの文化を醸成したい 近隣地域の生涯学習施設としてはもちろんのこと、日本各地の自治体と連携を深めていくことで、デジタルを有効活用した新しい教育を実現したい。特に地方の小中学生には早い段階からデジタルに触れる環境下で生活を営んでもらい、都市圏と遜色のない学びを提供し、地域ならではの体験を加えることでその学びを深くし、その地域の出身に誇りをもった社会人として活躍できる人材を育成したい。

**NAGASHIMA
DIGITAL SCHOOL
PROJECT**



はじめに 鹿児島県長島町のご紹介



長島町の基本データ

- 都道府県 鹿児島県
- 面積 116.18km²
- 人口 9,705名
※平成27年 10,431名
※平成22年 11,105名
- 産業 一次産業がメイン
水産業 ブリ養殖
農業 赤土バレイショ
みかん
- 交通 黒の瀬戸大橋で本土と繋がる
新幹線出水駅から車で40分
鹿児島空港から車で100分
- 歴史 温州ミカン発祥の地!!
※日本マンダリンセンター
で学ぼう!!

当町の課題



課題① 町外とのコミュニケーション不足による経済や観光業の落ち込み

コロナウイルス感染症の蔓延により、当町は島内の年10回のイベントや島外でのPR活動のほとんどを中止させ、経済や観光業は大きな打撃を受けた。

また、人員交流もビジネスやプライベート関係なくストップしており、島内全体の雰囲気も芳しくない状況が続く。



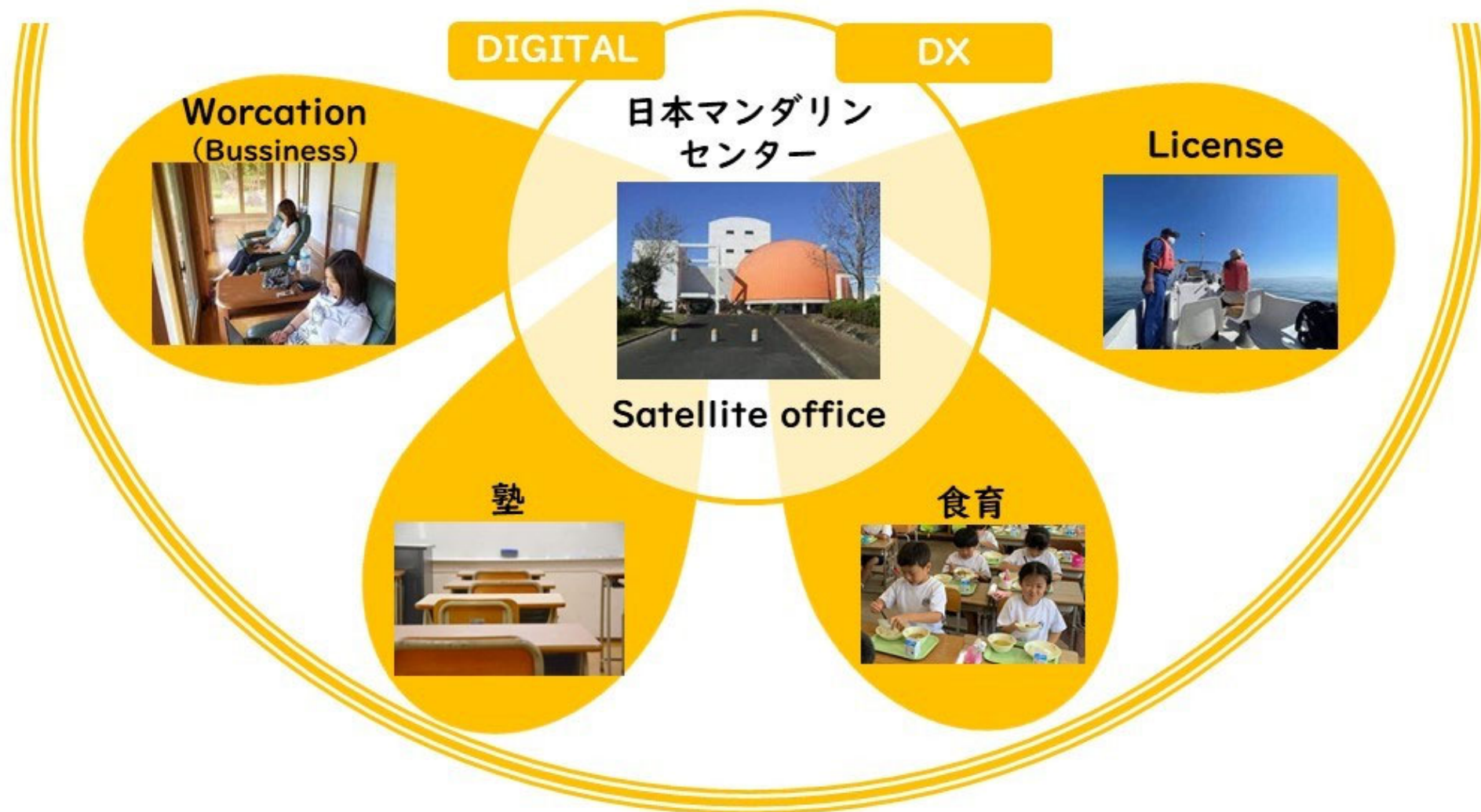
課題② 都市圏との教育格差

当町には学習塾が少なく、都市圏と同水準の学びを受講するためには、島外へ片道1時間をかけ両親や近親者が送迎を行う。送迎者は受講中、近辺で待機し3時間の受講のため少なくとも5時間以上／日の時間が必要であり、時間的制限により学びを断念する生徒も多い。

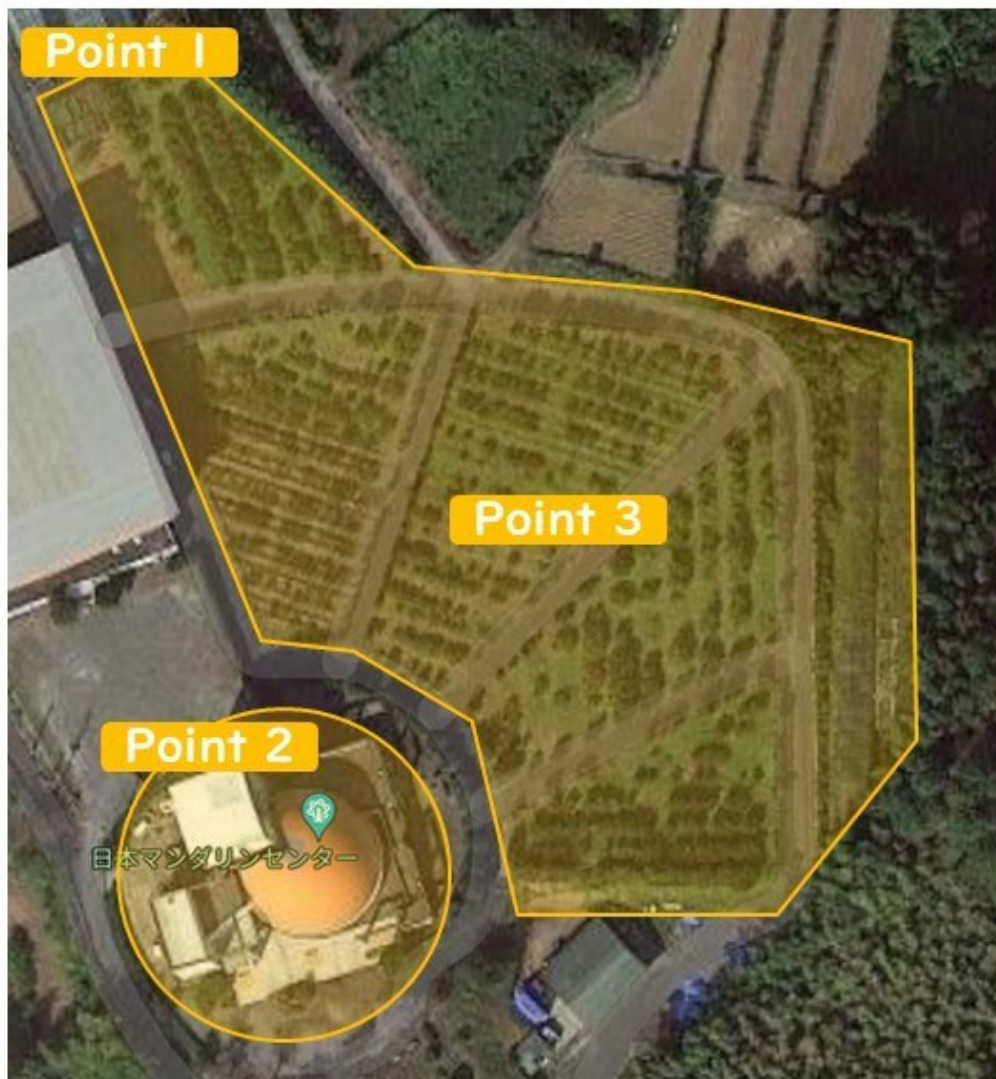
また、①と同様に島外への移動に関し、自粛を余儀なくされることで学びを抑制せねばならない状況であった。

実現したいこと

「デジタルを活用した新しい教育の形」を長島町の文化として継承していくため、ビジネスだけではなく、みんなが集えるサテライトオフィスを開設したい。



デジタル技術の活用方法（案）



Point 1

スマート農業の技術を活用し、みかん農家をIT化。「いつでも」「どこでも」農場が把握できる状況を作り、遠隔でも農業が実感できる環境を構築。



Point 2



遠隔教育や遠隔会議の技術を活用し、教育や食育、ビジネスが大都市圏と遜色なく実行できる環境を構築。

Point 3



デジタルを活用した農業や学びをミカン狩り等を通じて実体験することが可能。より、デジタルを身近に感じることができる。

実現したい具体例

Worcation

※課題①解決策

町外の方に町内を満喫いただきながら、仕事もできる空間を提供したい。
日本マンダリンセンターは、高台にあるため、不知火海を望むこともでき、非日常感が体験できる。



また、併設しているミカン園は、秋になるとたわわに実った実をつけ、ミカン狩り体験も可能。

License

※課題①解決策

令和3年度内閣府の事業を活用して、(一社)熱意のある地方創生ベンチャー連合と共に、仕事をしながら船舶免許資格の取得を目的とした、「Worcation × スキルアップ」の事業を実施。



首都圏を中心に、多くの企業に参加いただき、受験された全員が船舶免許を取得。Worcationを活用した「学び」に可能性を感じ、今後も継続予定。

実現したい具体例

マンダリン塾

※課題②解決策

小中学生を対象とし、首都圏と同様の教育が受講できるオンライン塾を開校。

家庭の事情で受講できなかった生徒に、学びの環境を提供したい。



英検や漢字検定、プログラミング教育も受講できるようサポート。
子供だけでなく大人も継続的に学習する文化を醸成する。

食育

※課題①②解決策

サテライトオフィスのキッチンゾーンを活用し、Worcationで訪問いただいた方や、家族で訪問された方、そして町内の子供向けの食育教室を実現したい。



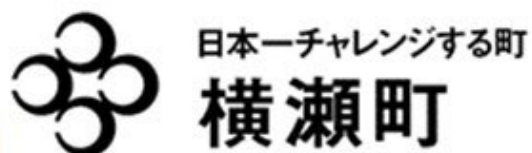
今後の展望

日本各地の自治体と連携を深め、デジタルを有効活用した学びの文化を「あたりまえ」にし、都市圏と遜色のない教育が「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」受講できるようにしたい。



参考 連携予定自治体・企業・団体

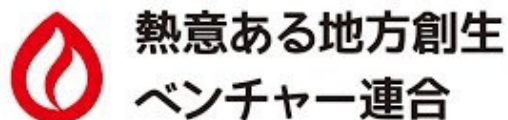
自治体



企業



団体



参考 令和3年度内閣府
ワーケーション×スキルアップ事業

(一社)熱意ある地方創生ベンチャー連合との取り組み

https://www.youtube.com/watch?v=VMrqMgjG_U

